

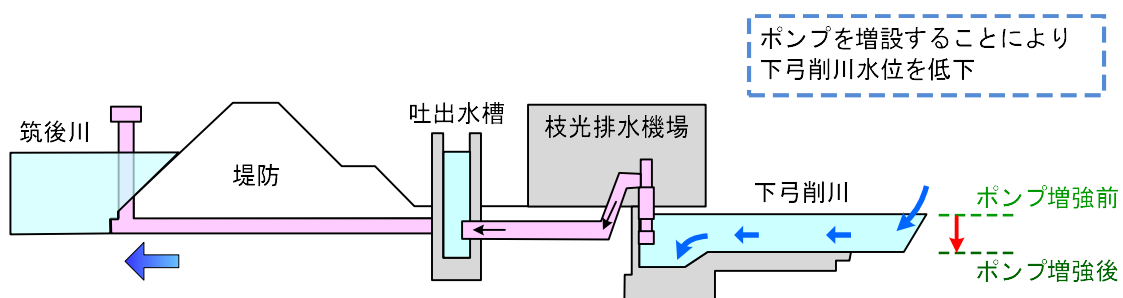
4-2. ハード対策

(1) 排水機場のポンプ増設【国・県・市】

下弓削川下流端に設置されている枝光排水機場のポンプを増設することにより、下弓削川から筑後川本川への排水能力を高め、浸水被害の軽減を図る。



図 4-1 ポンプ増設実施予定箇所



下弓削川の水位よりも筑後川本川水位が高い場合、下弓削川からの自然排水ができなくなるため、排水機場で強制的に排水

図 4-2 枝光排水機場イメージ

(2) 下弓削川の護岸嵩上げ（パラペット）【県】

下弓削川の護岸高が相対的に低い区間について、パラペット等の特殊堤による嵩上げを行い、河川からの溢水を防止し、浸水被害の軽減を図る。

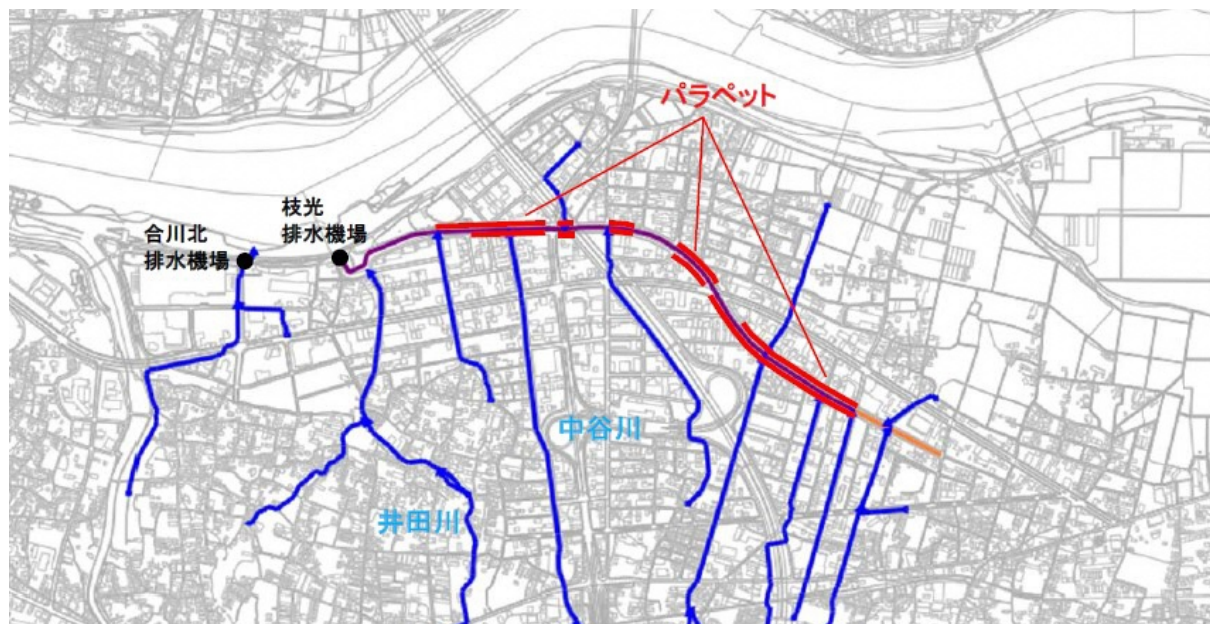


図 4-3 パラペット実施予定箇所

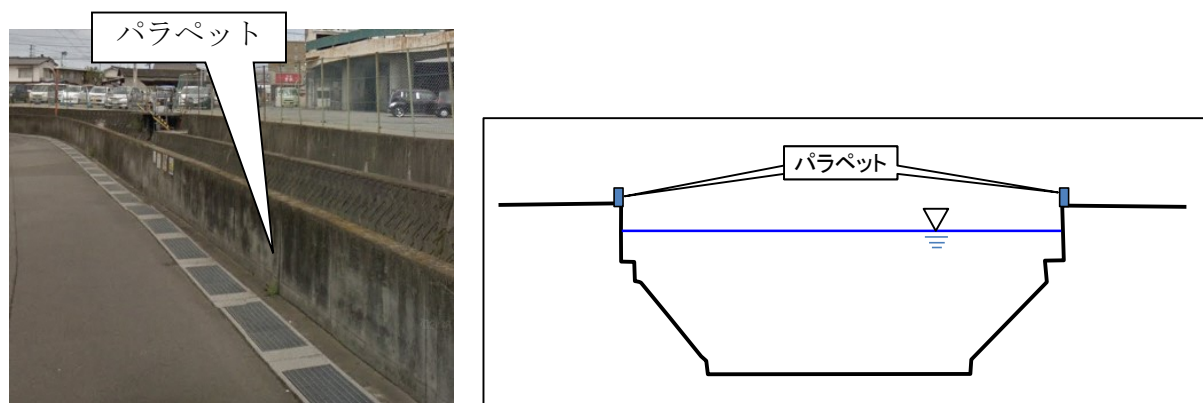


図 4-4 パラペット整備のイメージ

(3) 流域貯留施設の整備【市】

学校グラウンド、公園及びため池のスペースを活用し、流域貯留施設を整備し、下流域への雨水流出抑制を図る。図 4-5 は、設置予定位置を示したものである。

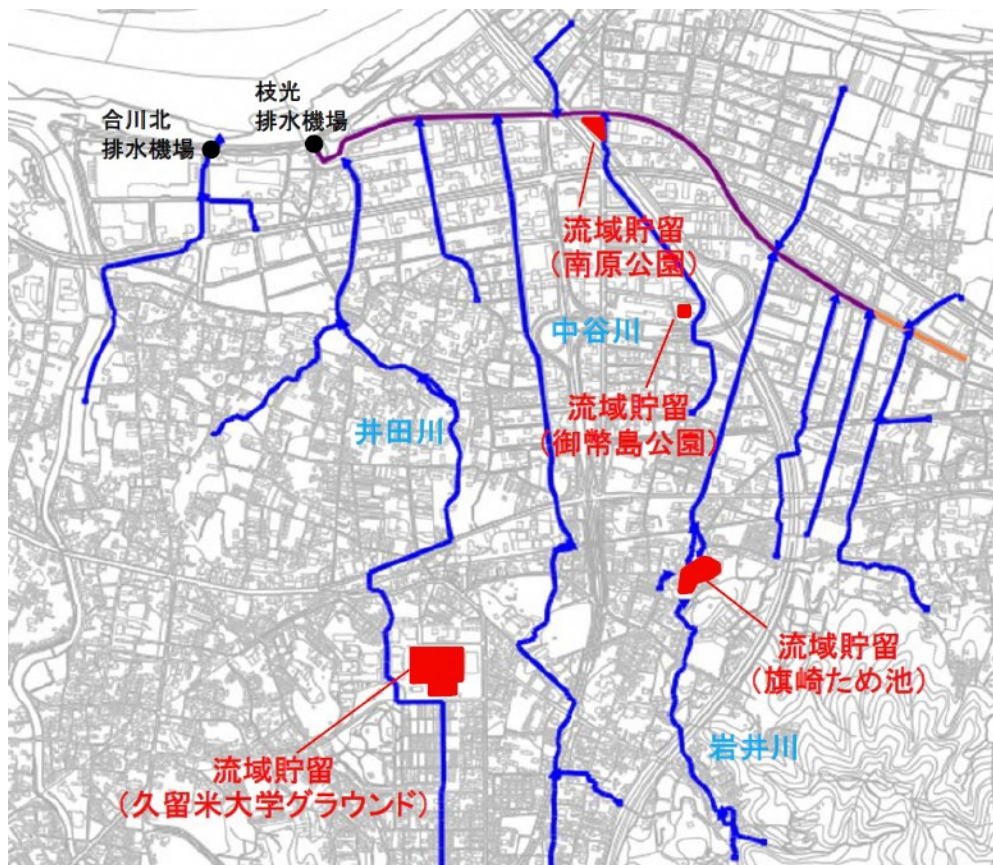


図 4-5 流域貯留施設の整備予定箇所

1) 流域貯留施設(久留米大学グラウンド)【市】



2) 流域貯留施設(旗崎ため池)【市】



3) 流域貯留施設(南原公園)【市】



4) 流域貯留施設(御弊島公園)【市】



(4) 雨水幹線の改修【市】

主要な水路の流下能力を検証のうえ、10年確率降雨に対しての流下能力確保を図る。

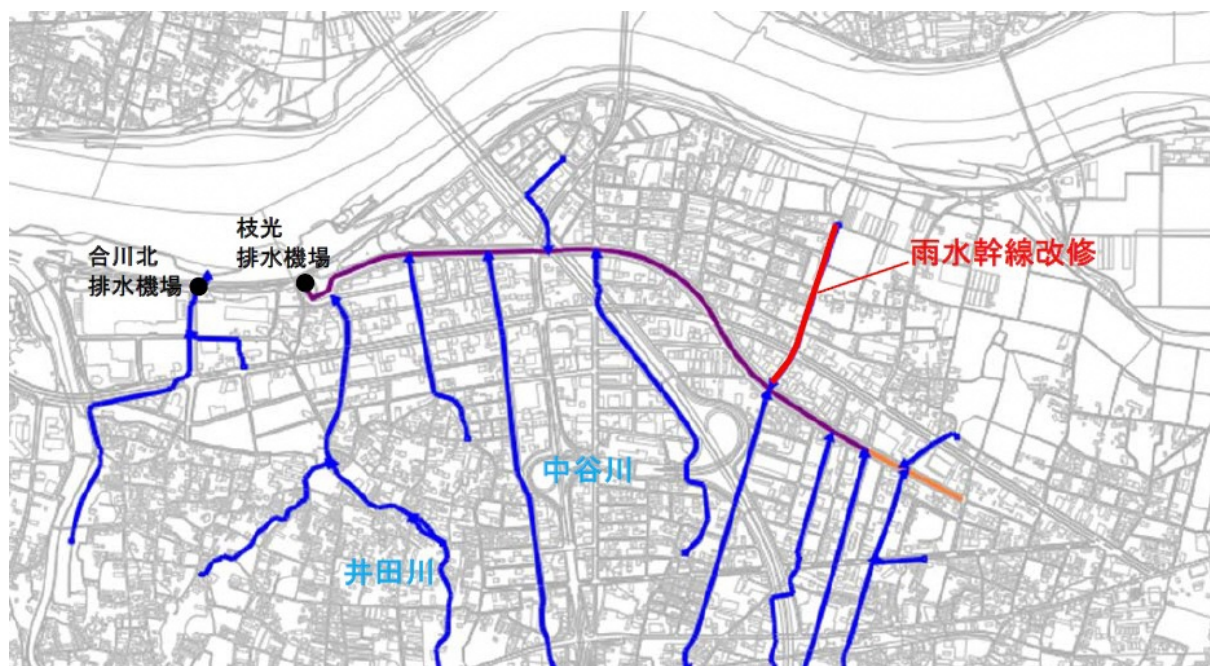


図 4-6 雨水幹線の改修予定箇所



図 4-7 雨水幹線の整備イメージ

(5) 中谷川の護岸嵩上げ（パラペット）【市】

下弓削川の支川である中谷川の護岸高が相対的に不足している区間について、パラペット等の特殊堤による嵩上げを行い、河川からの溢水を防止し、浸水被害の軽減を図る。



図 4-8 パラペット実施予定箇所

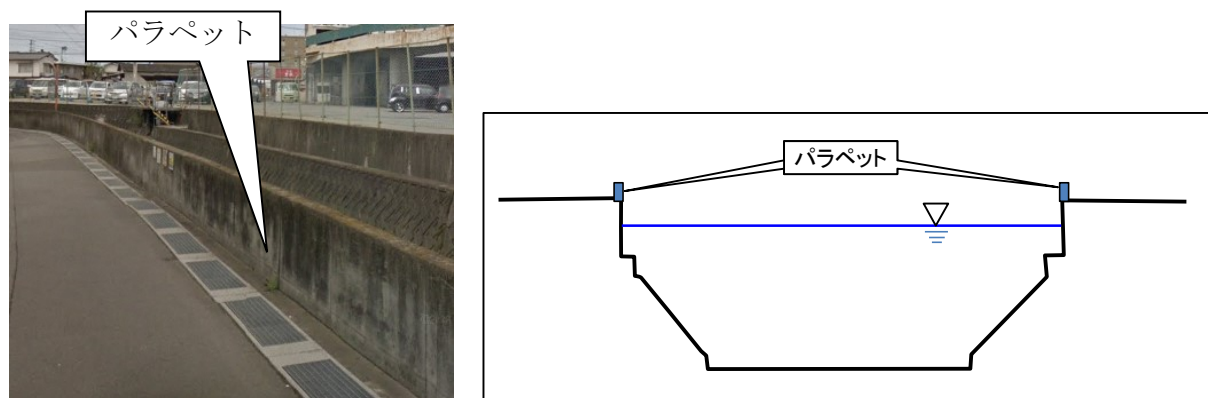


図 4-9 パラペット整備のイメージ

(6) 逆流防止ゲート（フラップゲート）の設置【市】

下弓削川に接続する水路に逆流防止ゲート（フラップゲート）を設置することにより、河川からの逆流を防ぎ、浸水被害の軽減を図る。



図 4-10 逆流防止ゲート（フラップゲート）実施予定箇所



図 4-11 フラップゲートの整備イメージ

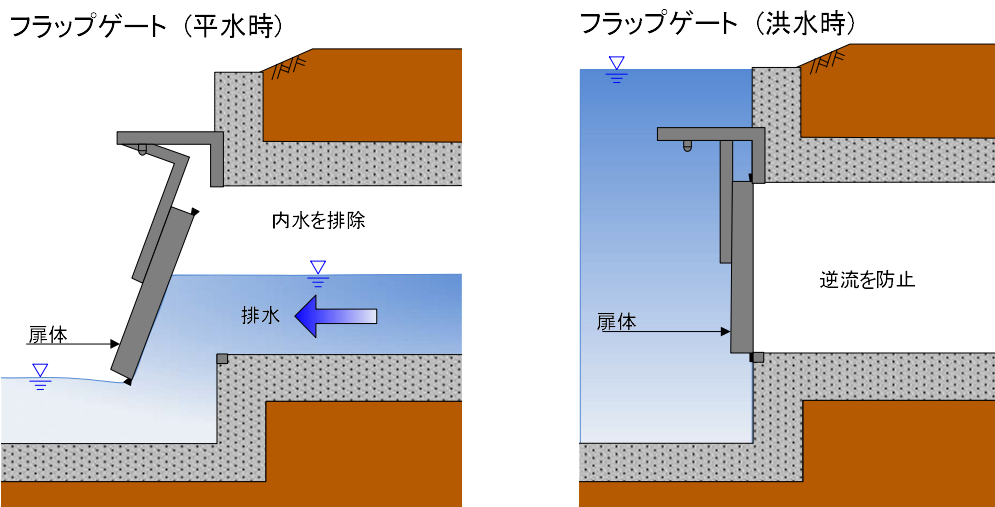


図 4-12 フラップゲート設置による逆流防止対策のイメージ

(7) 筑後川、下弓削川、江川、下水路等の堆積土砂等撤去【国・県・市】

河川巡視・点検などにより河道や堤防・護岸などの河川管理施設、下水道施設の状況を把握し、洪水時に安全性が確保できるように努める。

なお、河道や下水路等の流下断面を阻害する土砂や樹木については、土砂掘削・樹木伐採を実施することにより、河川水位を低減し、治水安全度の向上を図る。

これらの対策は、平成30年7月豪雨後においても速やかに実施しており、今後も適切な維持管理を図っていく。



図 4-13 下弓削川・江川における河道内の土砂掘削等（H30年7月豪雨後対応）